

2004年度

明日を生きる

子どもたちのために



一宮市小中学校 P T A 連絡協議会
一宮市教職員組合

目 次

明日を生きる子どもたちのために

I 心のとびら

1 保護者からみた子どものストレス	1
2 学校に行きたくないと思うことはありますか？	2
3 学校に行きたくない理由	3
4 家に帰るときの気持ち	4
5 子どもたちの家庭学習の時間	5
6 子どもたちの睡眠時間	8

II 癒されるとき

1 子どもたちの気持ち	10
2 うれしくなったり、楽しくなったりするとき	11
3 癒 <small>いよ</small> されるとき	13
4 つらいとき・苦しいとき	14
5 元気のもと	15

III はばたく未来へ

1 将来への気持ち	17
-----------	----

<アンケート実施者>

☆小	小学5年生	☆中	中学2年生
☆保護者	小5・中2の保護者	☆教師	小学校・中学校の教師

のぞいてごらん
心のとびらの向こう側
ぼく・わたしの輝くとき

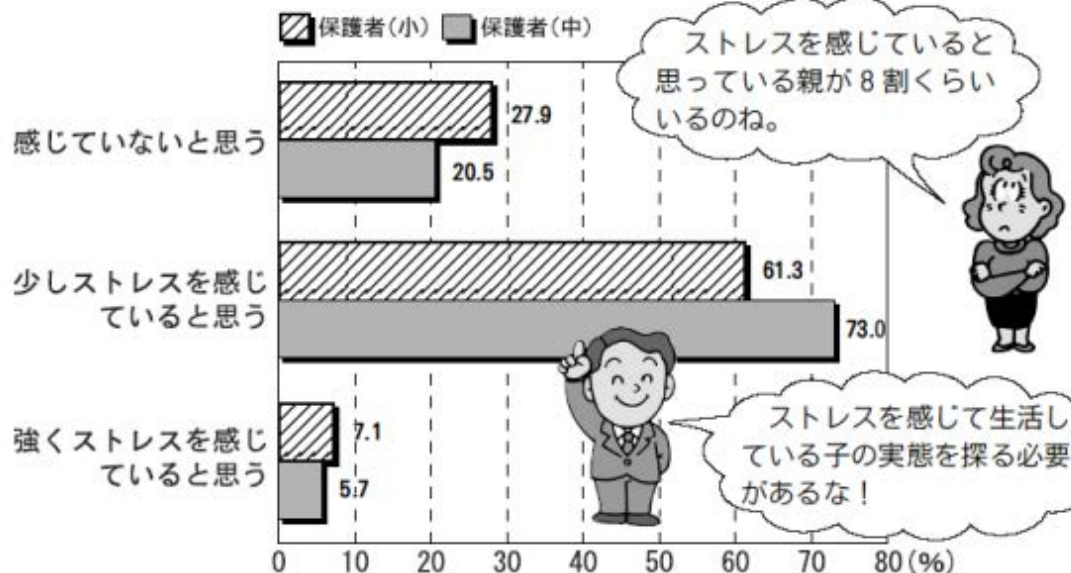
I 心のとびら

子どもたちは日々の生活の中でストレスを感じているのだろうか？

親は子どもの様子からどう感じているのかな？

① 保護者からみた子どものストレス

◆ お子さんが日常生活でストレスを感じて生活していると思いますか。(保護者) ◆



一宮の子どもたち約1,500人に聞いた結果から、実態を探ってみましょう！
子どもたちの「心のとびら」を一緒に開きましょう！



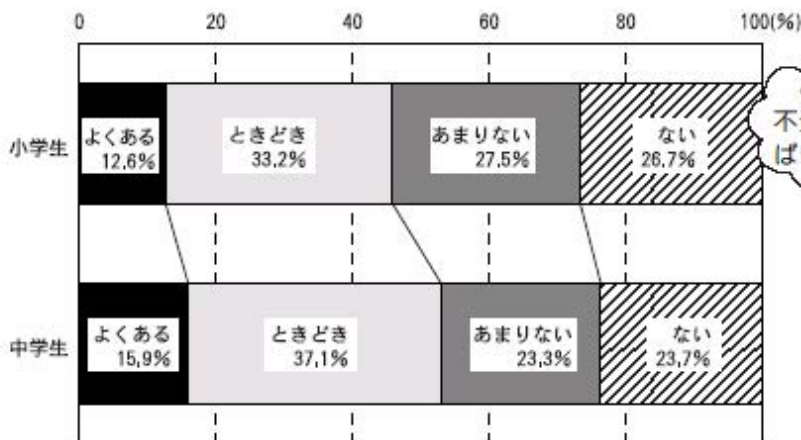
子どもたちは学校に、楽しく行っているのかな？



AM 7:00~8:00

② 学校に行きたくないと思うことはありますか？

◆ 学校に行きたくないと思うことはありますか。(小・中) ◆

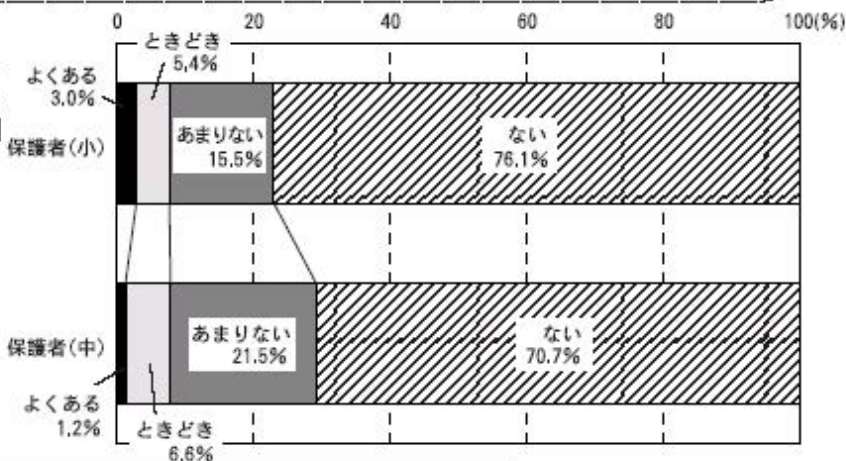


これは意外に多いよ！
不登校傾向の子がいっぱいいるみたいだ!!



◆ お子さんは、最近、「学校に行きたくない」と言うことがありますか。(保護者) ◆

あれ！子どもと親のグラフが全然違う！
朝、登校前にうちの子も何も言ってなかったのに…!?



親のグラフと子どものグラフの違いから何が考えられるでしょう？

親がかかっている子どもの実態と、実際の子どもの気持ちとの間に違いが見られます。このアンケートの結果から、子どもたちの心の様子が見えてきます。

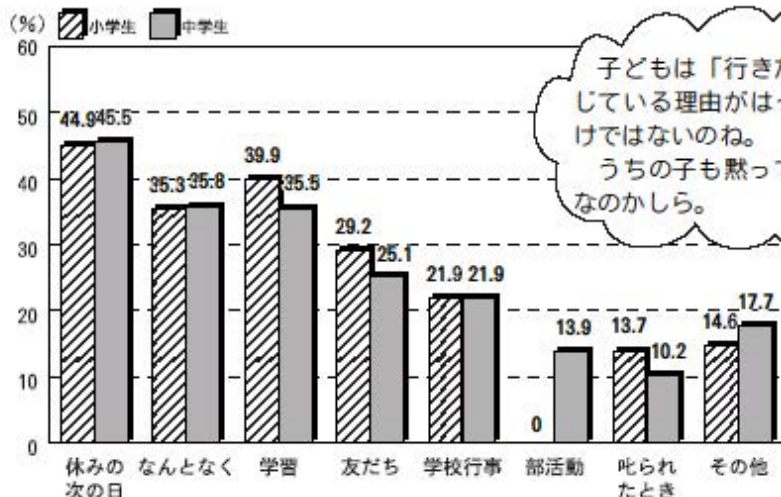




学校に行きたくない理由はいったい何なのかな？

③ 学校に行きたくない理由

◆ 学校に行きたくないと思うときはどんなときですか。(小・中 複数回答) ◆

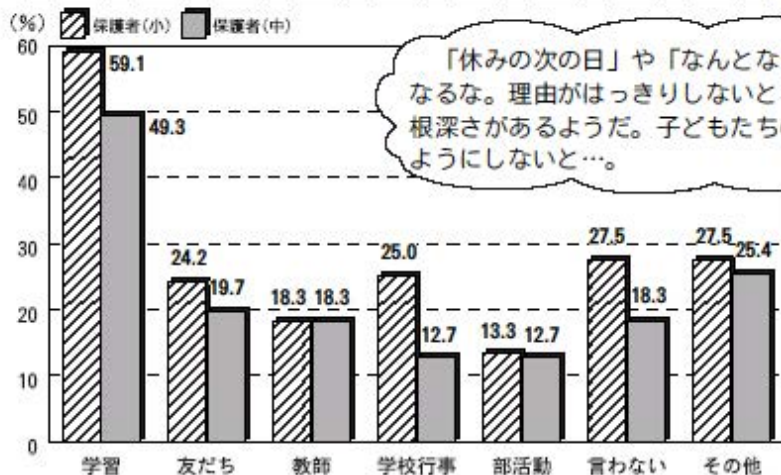


子どもは「行きたくない」って感じている理由がはっきりしているわけではないのね。
うちの子も黙っているけど、そうなのかしら。



◆ あなたのお子さんが、「学校に行きたくない」と言う理由は何ですか。

(保護者 複数回答) ◆



「休みの次の日」や「なんとなく」が多いのが気になるな。理由がはっきりしないところに、この問題の根深さがあるようだ。子どもたちの本音をもっと聞くようにしないと…。



毎日学校へ行く直前に、子どもたちの頭の中はいろいろと考えがめくっているようです。

ちょっとした子どもの様子に、心の変化が映し出されているかもしれません。





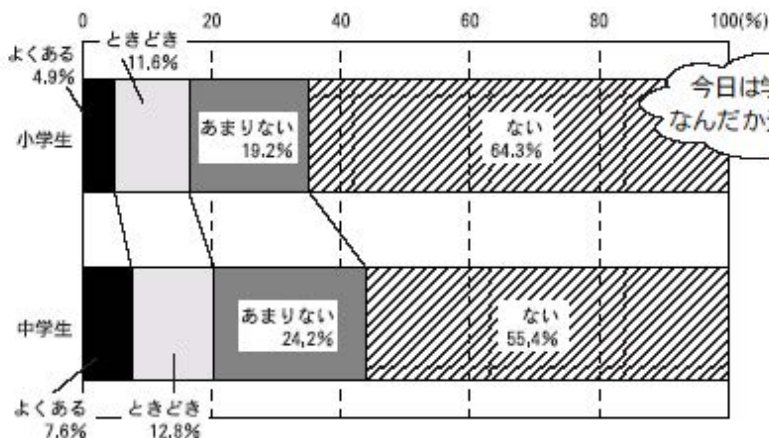
学校から帰るとき、どんな気持ちなんだろうか？



PM 3:00~4:00

④ 家に帰るときの気持ち

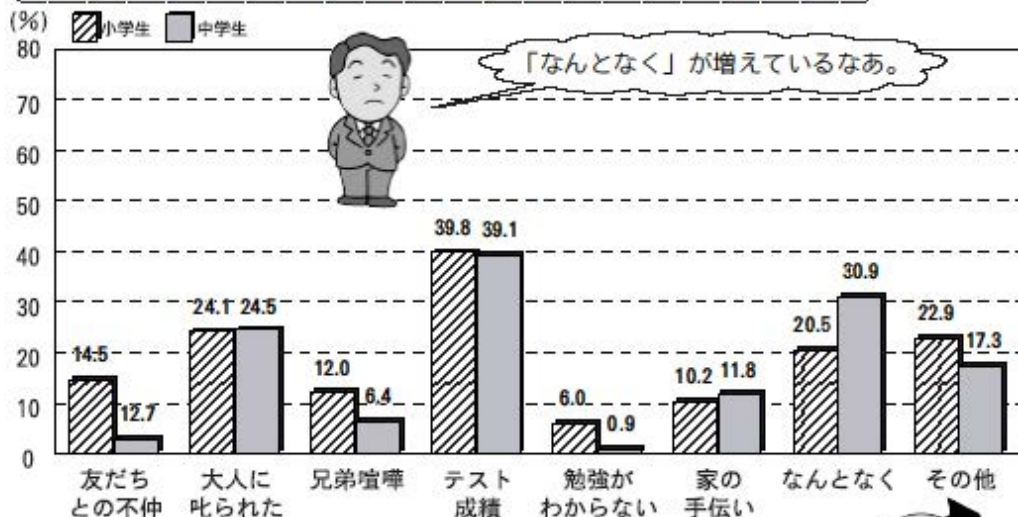
◆ 家に帰りたくないと思うことはありますか。(小・中) ◆



今日は学校で何かあったのかしら？
なんだか元気がないわね。



◆ 家に帰りたくないと思うときはどんなときですか。(小・中 複数回答) ◆



「なんとなく」が増えているなあ。

学校や家庭は楽しいところ、でも叱られたときや、成績が気になっているときは、だれかに支えてほしいと感じているのでしょう。





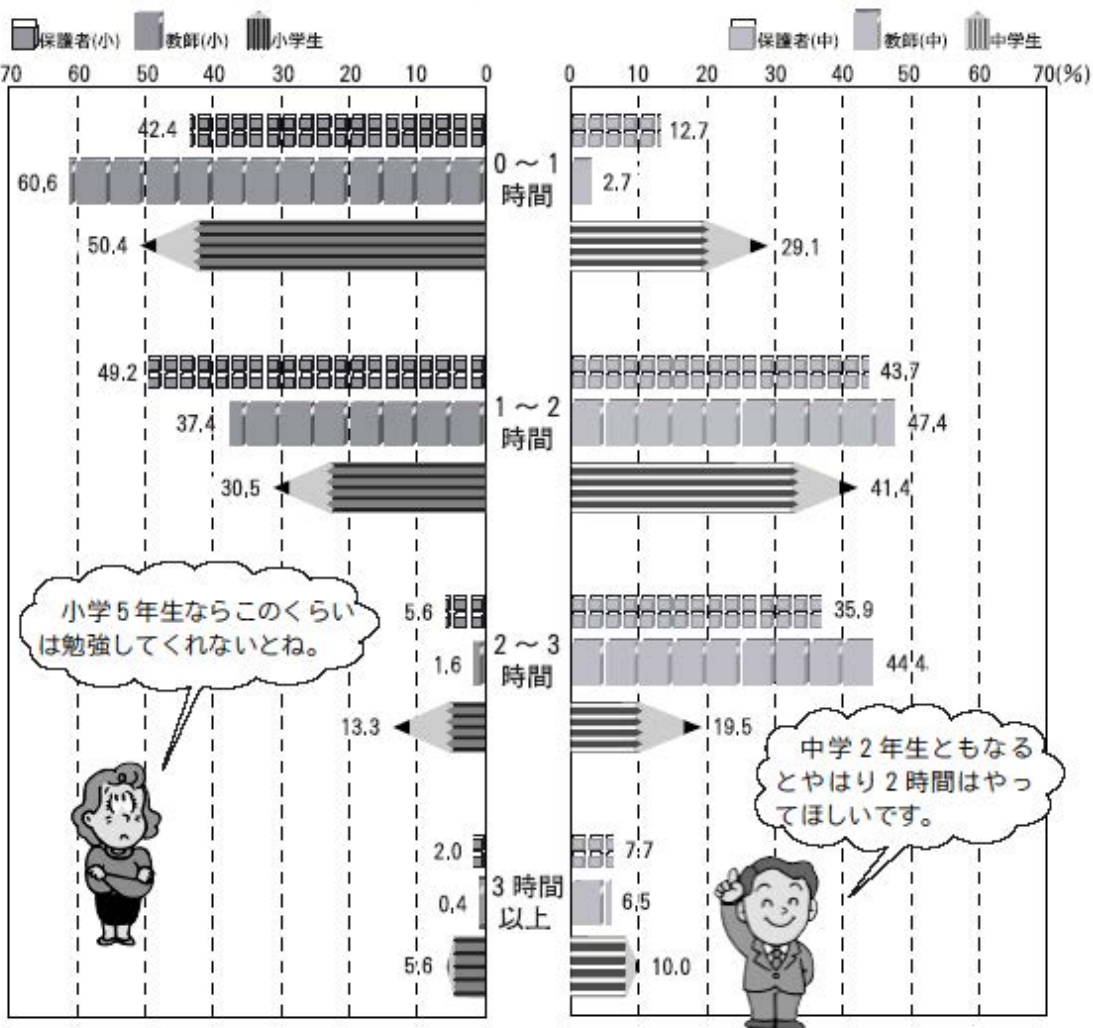
家庭では勉強がストレスになっているのかな？



PM 4:00～習い事

⑤ 子どもたちの家庭学習の時間

- ◆ 平均の学習時間は何時間が妥当だと思いますか。(保護者・教師) ◆
- ◆ 下校後の平均の学習時間は何時間ですか。(小・中) ◆



実際の子どもたちの学習時間よりも、親や先生が望む時間の方が長いという結果が出ました。





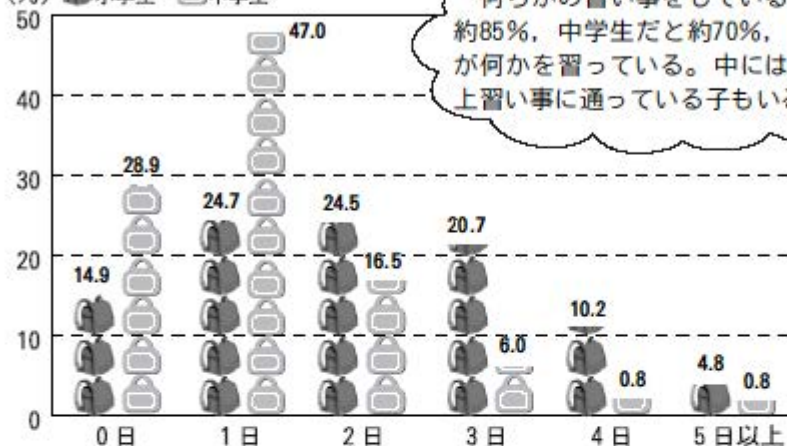
習い事はどうなっているのだろうか？



習い事～就寝

◆ 1週間に何日習い事に通っていますか。(小・中) ◆

(%) ●小学生 □中学生



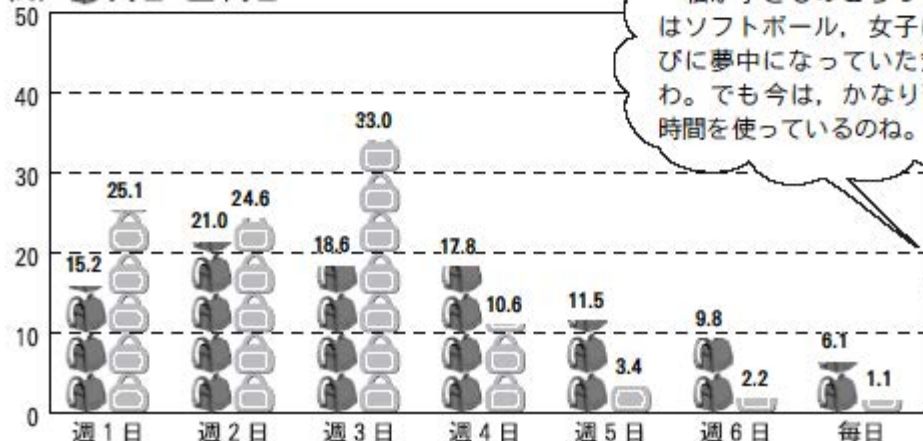
何らかの習い事をしている小学生が約85%，中学生だと約70%，多くの子が何かを習っている。中には週3日以上習い事に通っている子もいるんだな。



ぼくの習い事は週に3回、だいたい午後5時から7時半までだよ。お姉ちゃんは午後7時から9時半までで、テスト前には夜の11時ごろまで塾にいることもあるよ。

◆ 1週間に何日習い事に通っていますか。(小・中) ◆

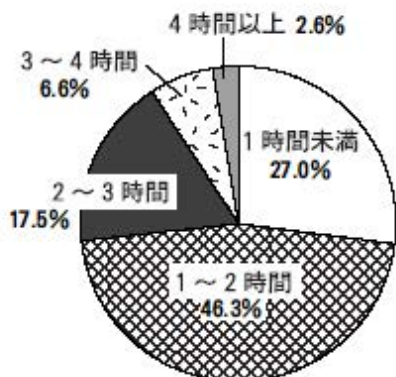
(%) ●小学生 □中学生



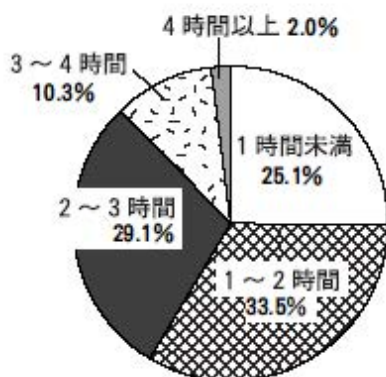
私が子どものころって、男子はソフトボール、女子はゴムとびに夢中になっていた気がするわ。でも今は、かなり習い事に時間を使っているのね。



◆ 下校後の習い事（学習塾を含む）は1日平均何時間ですか。（小・中） ◆



小学生

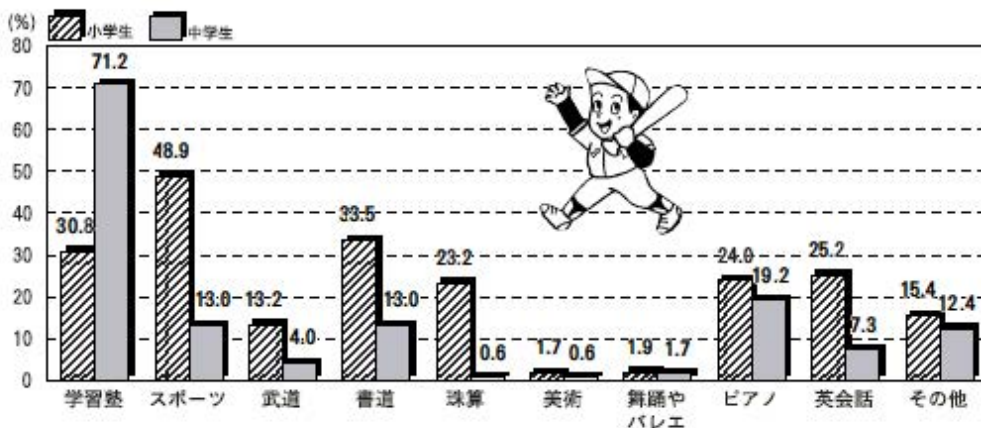


中学生



◆ 習い事は何ですか。通っているものすべてを選んで教えてください。（小・中 複数回答） ◆

（小・中 複数回答） ◆



中学生は部活動の後に習い事に通うことになるので大変そうです。

小学5年生から中学2年生の3年間の違いで、子どもたちの生活が大きく変わっているのがわかります。

つまり、小学生の間は「スポーツ・芸事」が習い事であるのに対して、中学生は、「学習塾」が半数以上になっています。

しかも、1回の習い事にかかる時間が長くなっています。





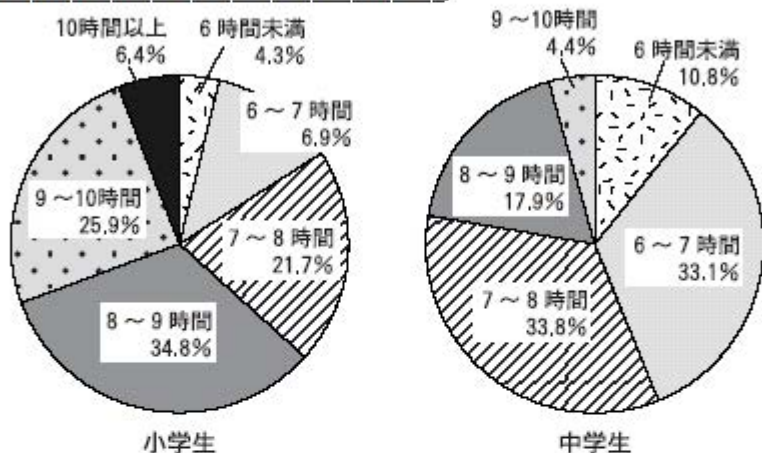
睡眠はしっかりとれているのだろうか？



就寝～翌朝

⑥ 子どもたちの睡眠時間

◆ 睡眠時間は平均何時間ですか。(小・中) ◆

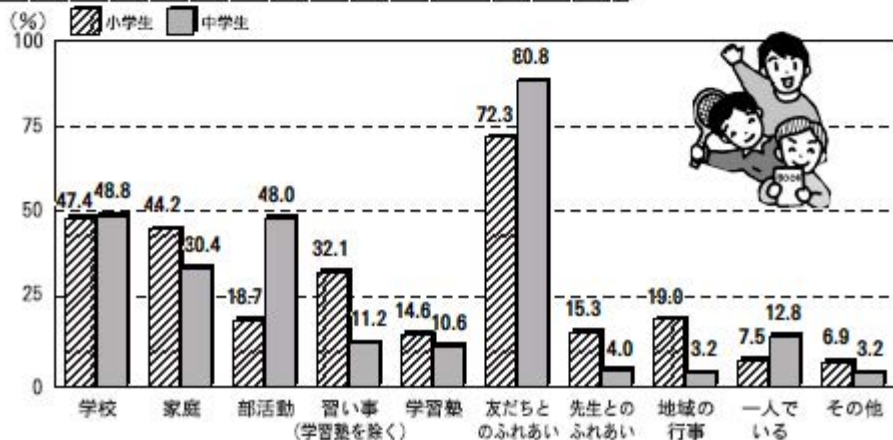


中学生になると小学生のときよりも睡眠時間が少なくなってるわね。



子どもたちは毎日の生活で何が楽しいのだろうか？

◆ 毎日の生活で何が楽しいですか。(小・中 複数回答) ◆





友だちと過ごすときが一番楽しいんだ。だれかと一緒にいるってことが大事だと思うよ。学校でも家でもどこでも、大切なのはそこに何があるかじゃなくて、そこにだれがいるのかってこと。

子どもたちは、大人の気づかないところでストレスをためているのかも知れません。

子どもたちが本当に困ったときに受け止めてくれる大人が、その子の周りにいるかどうか重要です。



子どもたちの心は、毎日時間に追われているのかもしれない。

「心の息抜きの時間」はあるのだろうか？



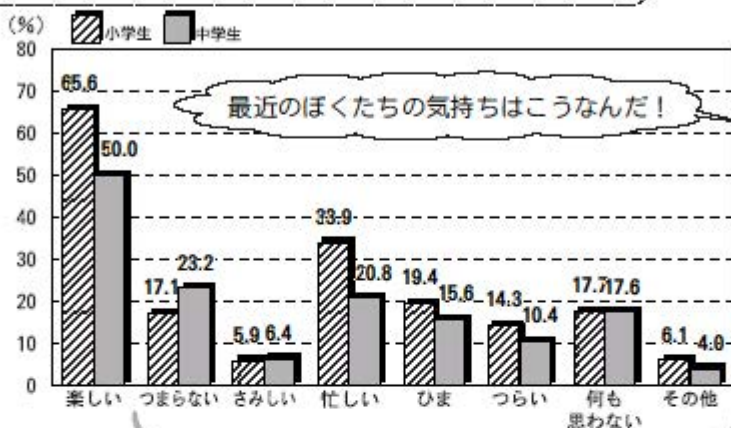
Ⅱ 癒されるとき



子どもたちの心は、今どうなっているのだろうか？

① 子どもたちの気持ち

◆ 最近どんな気持ちで過ごしていますか。(小・中 複数回答) ◆

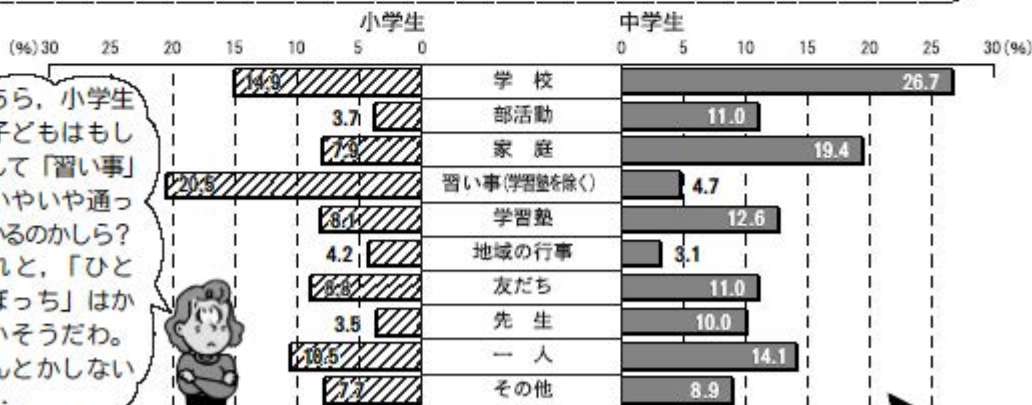


最近のぼくたちの気持ちはこうなんだ！



小学生も中学生も半分以上が「楽しい」と答えているなあ。でも、「忙しい」や「つまらない」が気になるな。

◆ あなたがそう思う原因は何だと思いますか。(「楽しい」以外を選択した小・中 複数回答) ◆



あら、小学生の子どもはもしかして「習い事」にいやいや通っているのかしら？ それと、「ひとりぼっち」はかわいそうだね。なんとかしないと…。



小中ともに多くの子が学校生活に悩みを抱えていることがわかります。そして、小学生は習い事もストレスにつながっているようです。また、中学生では家庭でストレスを感じているということもわかります。家庭での対話を見直す必要があるようです。

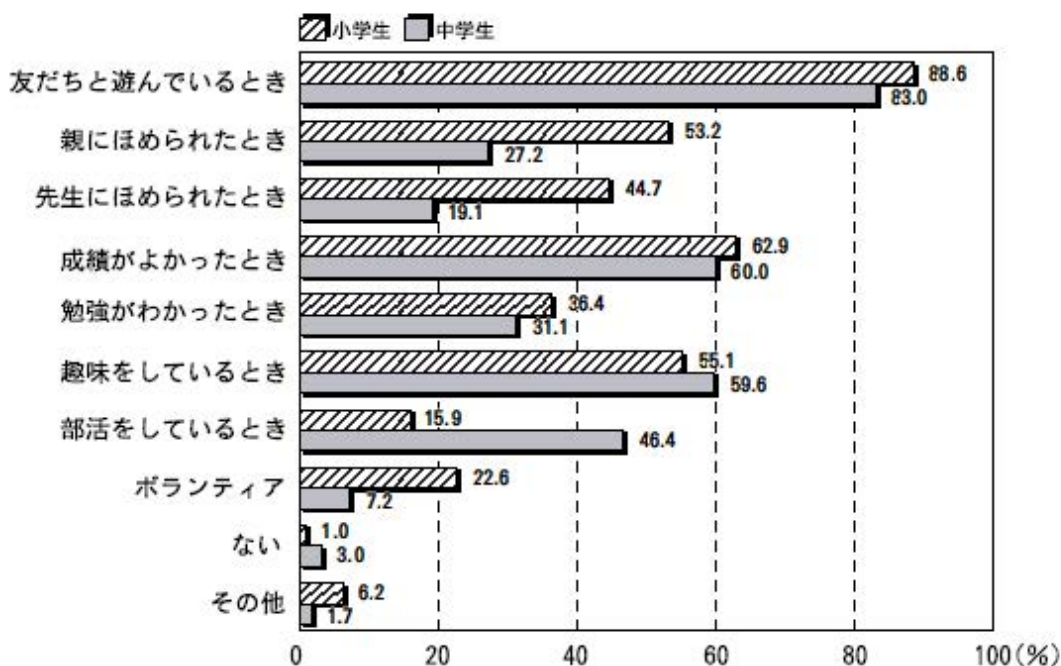




子どもたちが「うれしい・楽しい」のはどんなときだろうか？

② うれしくなったり、楽しくなったりするとき

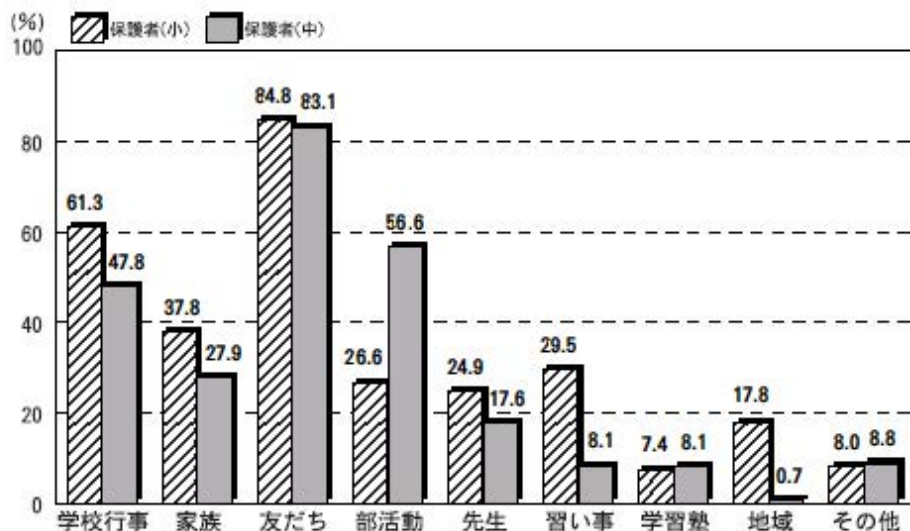
◆ あなたがうれしくなったり、楽しくなったりするのはどんなときですか。
(小・中 複数回答) ◆



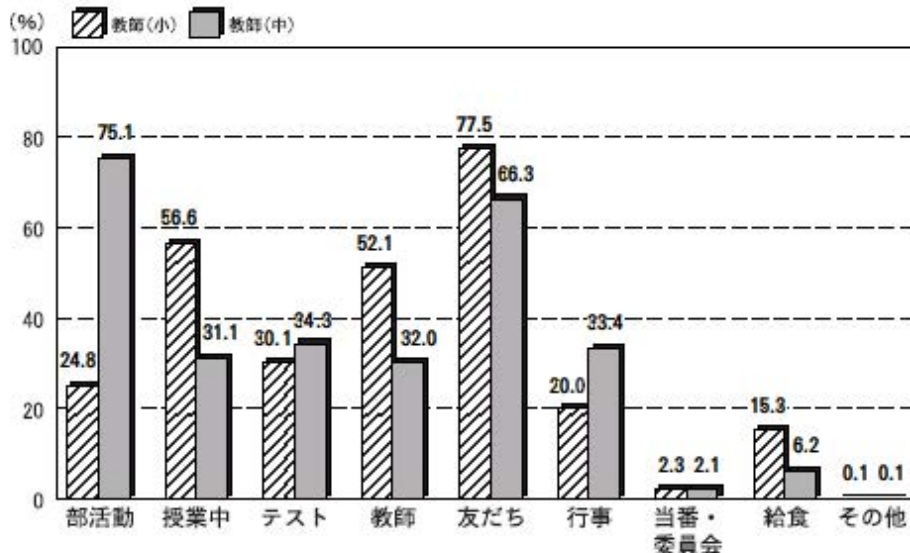
やっぱり友だちとの関係が一番心に響くのね。小学生は「ほめられたとき」がうれしいみたい。



◆ あなたのお子さんは楽しかったできごととして、どんな話をしますか。(保護者 複数回答) ◆



◆ 児童生徒が輝いた笑顔になるのはどんなときですか。(教師 複数回答) ◆



やはり友だちと過ごすときが一番輝いているという結果でした。それ以外では、小学生は授業中に、中学生は部活動で輝いているようです。そして、子どもたちはいろいろな場面で「うれしい・楽しい」と感じているようです。

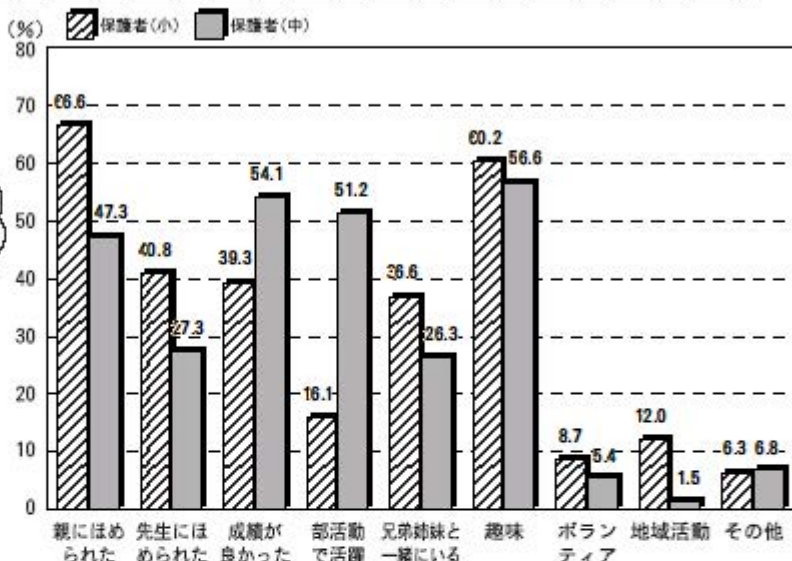




家庭で子どもたちは安らいているのだろうか？

③ 癒されるとき

◆ お子さんが、家庭で輝いた笑顔になるのはどんなときですか。(保護者 複数回答) ◆



親にほめられると、とてもうれしいな！



自分の時間があると安らげますね！
家族とのふれあいも楽しく、子どもたちには必要な時間だということが分かります。

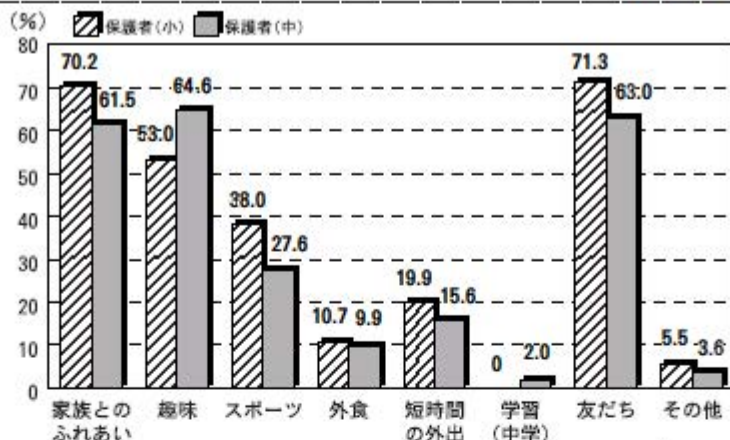
◆ 家庭生活上、楽しいと感じることは何ですか。(小・中 複数回答) ◆



日ごろのストレスをどうやって解消してあげようかしら？



◆ 帰宅後のお子さんにとって、ストレスを和らげるのに何が効果的だと思いますか。
(保護者 複数回答) ◆



家族とふれあう時間はあるのだろうか？
「忙しい」と感じている日々の中で親子が一緒に過ごす時間をつくる努力が、これからポイントになりそうです。

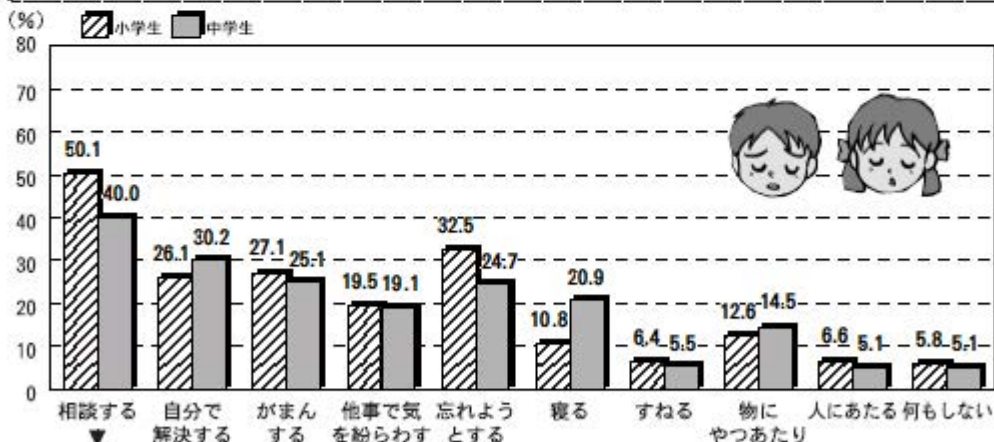


つらいときはどうしているのだろうか？



④ つらいとき・苦しいとき

◆ つらい気持ちや、いやな気持ちになったときどうしていますか。(小・中 複数回答) ◆



だれに？

次のページへ



だれかに相談したり、自分で解決できない子どもがたくさんいるという結果が得られました。

つまり、忘れようとしたり、他事で紛らわしたり、人や物にあたったり…。きっと、だれにも言い出せなくて、ひとりで苦しんでいるのでしょう。大人がどうかかわり、どう導くか！

泣き出しそうな子どもの心と向き合うことができるのは、だれなのでしょう。

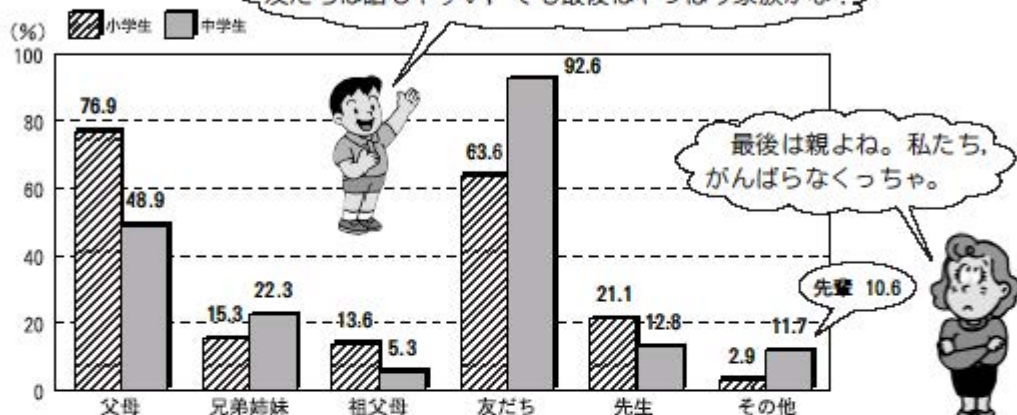


子どもたちは、困ったときだれに助けを求めるのだろうか？

⑤ 元気のもと

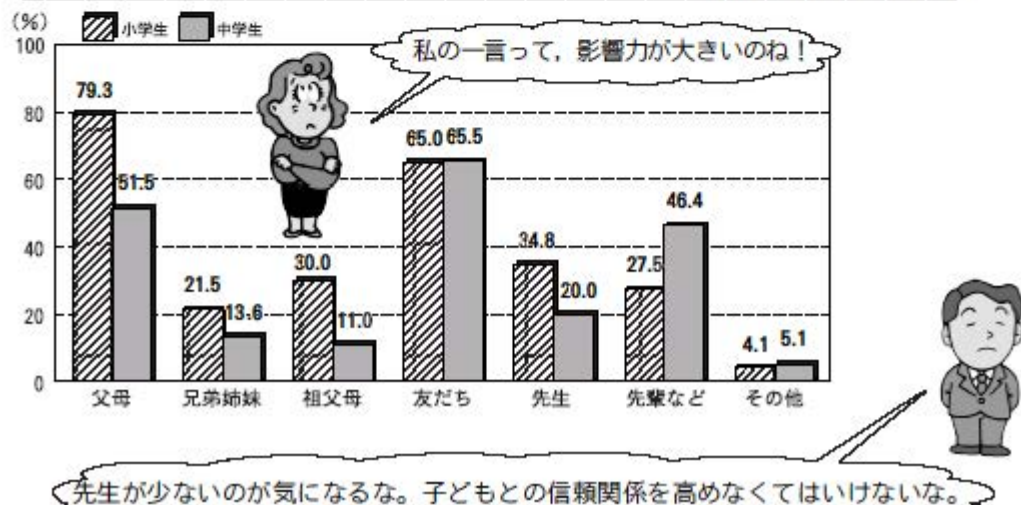
◆ だれに相談しますか。(小・中 複数回答「だれかに相談する」と答えた人) ◆

友だちは話しやすい、でも最後はやっぱり家族かな？



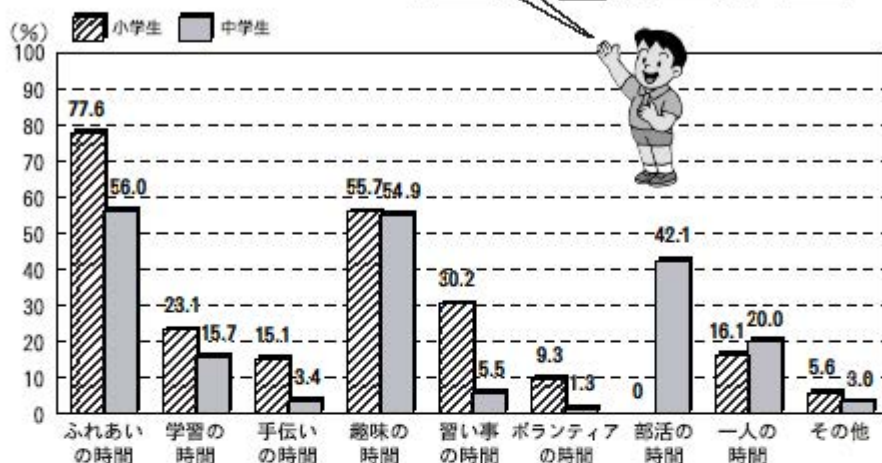
子どもたちを元気にさせる人ってだれなんだろう？

◆ あなたががんばろうと思うときは、だれからはげまされたときでしたか。(小・中 複数回答) ◆



◆ あなたが大切にしているのは何の時間ですか。(小・中 複数回答) ◆

ぼくたちが一番大切にしているのは、何といっても、人とのふれあい！人の温かさを感じて成長するんだ。



子どもたちにとって、悩みを自分で解決するのは難しいことのようにです。私たち大人が、子どもたちの心に手を差し延べること、私たち大人が支えることが必要なようです。まず、子どもたちとコミュニケーションをとることからはじめてはいかがでしょうか。子どもたちも、人とのふれあいを大切にしたいと思っていますようです。

また、手伝い・ボランティアの時間など、親や先生が大切にしたいと思っているものが、子どもたちのアンケートでは低い結果になっています。子どもたちとのふれあいの方法を工夫することが、子どもたちの理解を多方面から深めることになるのです。



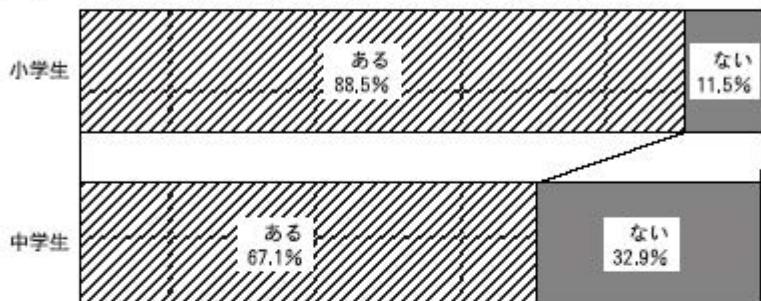
Ⅲ はばたく未来へ



未来を担^はう子どもたちは、未来をどう考えているのだろうか？

① 将来への気持ち

◆ あなたは、将来かなえたい夢がありますか。(小・中) ◆



夢をもっている子が結構いるのね。でも、小学生は多いけど、中学生になると夢をもっている子が減るのが心配だわ。

夢がない中学生が気になるな。夢は「生きる意欲」につながるからなあ。



◆ 夢をかなえるために今からがんばっていることがありますか。(小・中「夢がある」と答えた人) ◆



子どもは子どもなりに考えていると見てほしいなあ。

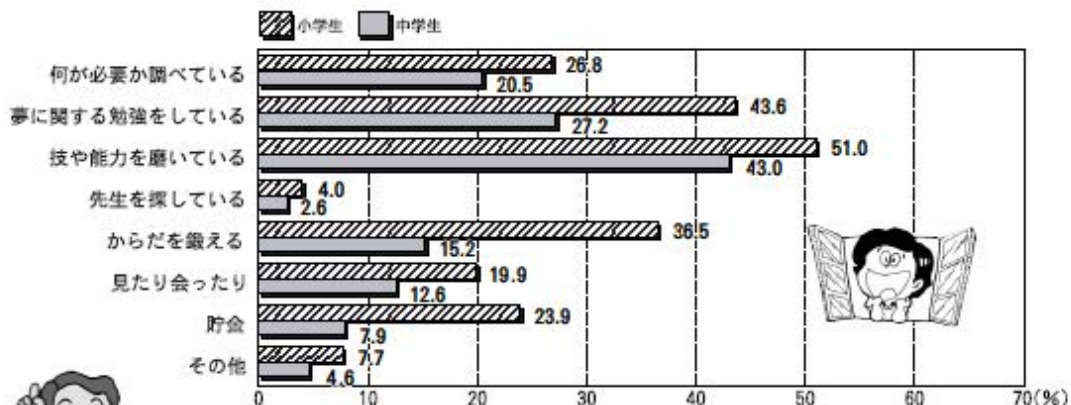
夢をもっていると答えても、「夢のために何かをがんばっているか？」となると、また減っちゃうのね。



夢を将来へのエネルギー源として、がんばってほしいな。



◆ 夢をかなえるためにあなたは今、何をしていますか。
 (小・中「夢のためにがんばっていることがある」と答えた人 複数回答) ◆

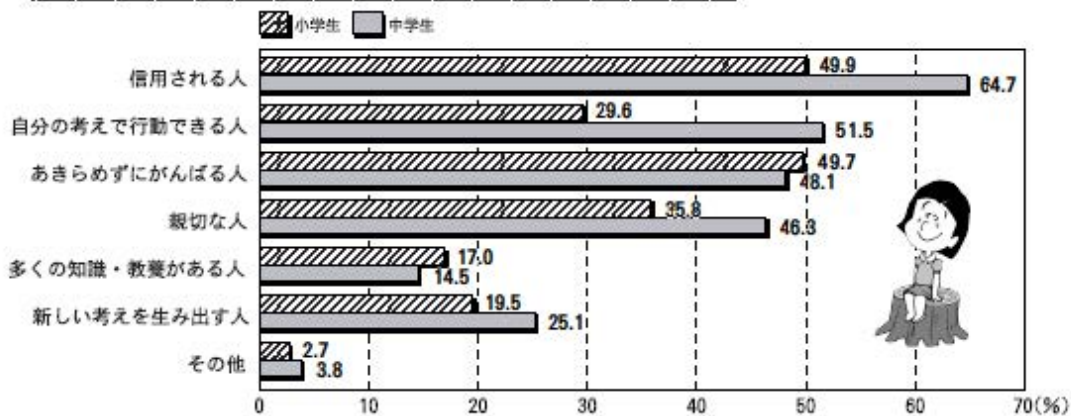


夢を抱いている中学生は、より具体的に夢を意識して行動しているようです。

とりあえず貯金っていうのも小学生らしいでしょ。それに、スポーツ選手になりたい子はからだを鍛えるところから始めているんだね。



◆ どんなおとなになりたいと思いますか。(小・中 複数回答) ◆



小学生も中学生も「人に信用される」ことを望んでいるようです。そして、小学生は「あきらめない」気持ちも持ち続けたいと願っています。
 中学生は、「自分で考えて行動すること」や「優しさ」に重点を置いているところが小学生と違ってきます。そんな彼らの未来へのエネルギーを我々大人たちがうまく引き出して、育てていきたいものです。

